# 京都教区時報

発　行　京都司教区
責任者　村上透磨
京都市中京区河原町
三条上ル
京都教区時報編集室
TEL 075－211－3468
FAX 075－211－4345

Home Page http://www.kyoto.catholic.jp　4345

2～4頁　2005年度会計報告

5頁　正義と平和協議会全国集会

点訳版「京都教区時報」〈無料〉ご希望の方は点訳ネット「レジナ」代表嶽崎(たけざき)裕子さんまでお申込みください。
TEL・FAX 0794-31-8601

（写真は子羊会ヨーロッパ巡礼のときのスナップです）

## 相手への愛に生かされて

「愛のしるしの一つは人々に真理を与え、人々を一致に導く配慮です。もう一つのしるしは、イエス・キリストをのべ伝えるために余すところなくまた躊躇することなく献身的に働くことです。さらにまた、その他のしるしもここにあげてみたいと思います。

第一に、福音を告げる相手の人々を尊重し決して厳しい接し方をせず、彼らの宗教、霊魂、生活様式を尊重し、彼らをむやみに急がせることをしないように彼らの良心と確信にかかわっていく、ということです。

第二は、まだ信仰の弱い人の心を傷つけないように注意することです。

第三は、キリスト者に、なまはんかな知識から生まれる疑いや不安ではなく、神のことばのうちにしっかりと根を下ろした堅固な確信を与えるように努力することです」。

（パウロ6世「福音宣教」79）

5
2006

# 2005年度カトリック京都司教区会計収支報告

いつも京都司教区のために、信徒の皆様からのお祈りや経済的援助を賜り、感謝申し上げます。また、各小教区・修道院・学校施設の各位からの、特に財政面でのご協力にも感謝申し上げながら、2005年度のカトリック京都司教区の教区本部会計及び小教区会計の収支報告をいたします。なお、教区本部会計及び小教区会計（合算）の収支の内容は別表の通りです。

〔所轄庁への書類提出義務〕

宗教法人法の規定により、教区本部会計及び小教区会計の財産目録、貸借対照表、収支計算書等を所轄庁である文化庁に、また、収支計算書を所轄税務署に提出することになっています。小教区の会計担当者をはじめ皆さんを煩わせることが多いと思いますが、宗教法人に求められている正しい報告のために、より一層のご協力をお願い致します。

〔小教区納付金支出（A）について〕

小教区納付金（A）として、教会維持献金とミサ聖祭献金との15%をお納め頂いていますが、2005年度は36,415千円でした。これは年々減少して来ており、2000年度に比べますと約1割少なくなっています。色々な事情があると思いますが教区財政安定のためにも、より一層のご協力をお願い致します。

〔小教区納付金支出（B）について〕

教区の財政を改善するために、1999年から、教区の信徒全員で司祭の人件費を分担して頂くことになりました。この方式を導入以来、逐次計算方法を改善して来ましたが、小教区による負担額の差を緩和するため、2005年度より新しい計算方式に変更いたしました。変更の趣旨をご理解頂き、皆様に多大なご協力を頂きましたことを感謝申し上げます。

〔全般事項〕

①一昨年度は経常収入の大幅な減少により赤字決算となりましたが、昨年度は、皆様のご協力により黒字決算となりました。引き続き今年度も、皆様のご協力のお陰で、収支差額34百万円のプラスとなりました。

司教座聖堂は2002年度に大規模なリニューアルを行いましたが、今後に備えるため司教座修築積立金を積み立てています。今年度の決算では積立金を計上していませんが、2006年に今年度分として約19百万円積み立てる予定です。

②収入のうち、特別勘定収入として「ときわハウス勘定」を設けています。これは、ザーン神父様が「ときわハウス」の青年たちのお世話を永年にわたり続けて下さっていましたが、帰国されるに当たり「ときわハウス」のためにと残されたものを「ときわハウス勘定」として取り扱うことにしたものです。

土地売却収入は、野外礼拝センターの土地の一部を隣接の特別養護老人ホームサンタ・マリアに売却した代金（分割払い）です。

③支出について見ますと、経常支出が前年度に比べ約15百万円減少しています。これは主に職員の減少による人件費の減によります。また、小教区での聖堂等の改修工事が今年度は少なかったため、資産支出が大幅に（約75百万円）減少しています。

〔終わりに〕

初めにも述べましたように、維持献金の額が漸減傾向にあります。小教区の財政安定のためにも、20歳以上で収入のある信徒の方は、収入の3%を目安として、維持献金の納入をお願い致します。

2006年4月
カトリック京都司教区
本部事務局長　北村善朗

# 京都司教区　2005年度　教区本部会計収支報告書

自2005年1月1日　至2005年12月31日

（単位：千円）

| 科目 | 実績 | 科目 | 実績 |
|---|---|---|---|
| Ⅰ 経常支出 | 199,522 | Ⅰ 経常収入 | 226,727 |
| 1 福音宣教活動費 | 58,795 | 1 納付金収入 | 181,006 |
| 祭儀費 | 965 | 司教司牧納付金 | 3,306 |
| 教育養成費 | 10,184 | 司祭司牧納付金 | 10,190 |
| 諸委員会活動費 | 1,090 | 小教区納付金（A） | 40,478 |
| 教区事業活動費 | 44,587 | 小教区納付金（B） | 81,987 |
| 諸活動団体補助金 | 530 | 小教区納付金（C） | 28,522 |
| 会議費 | 1,337 | 小教区納付金（D） | 1,639 |
| 図書費 | 102 | 福音宣教協力金 | 7,003 |
| | | 建設分担金収入 | 7,881 |
| 2 寄付金支出 | 10 | | |
| | | 2 寄付金収入 | 33,714 |
| 3 特定献金支出 | 12,007 | 一般寄付金収入 | 1,971 |
| | | 収益部門収入 | 29,260 |
| 4 人件費 | 111,619 | その他の寄付金 | 2,483 |
| | | | |
| 5 維持管理費 | 9,899 | 3 特定献金収入 | 12,007 |
| | | | |
| 6 事務管理費 | 7,192 | | |
| | | | |
| Ⅱ 墓地勘定支出 | 7,976 | Ⅱ 墓地勘定収入 | 8,300 |
| 墓地管理費 | 5,133 | 墓地使用料収入 | 4,630 |
| 墓苑整備費 | 2,843 | 墓地祭儀収入 | 3,670 |
| | | | |
| Ⅲ 特別勘定支出 | 3,000 | Ⅲ 特別勘定収入 | 18,105 |
| 一粒会 | 2,000 | 一粒会 | 12,685 |
| アジア基金 | 0 | アジア基金 | 851 |
| 一万匹の蟻 | 0 | 一万匹の蟻 | 3,112 |
| 国際協力基金 | 0 | 国際協力基金 | 457 |
| 聖堂修築積立金 | 0 | ときわハウス勘定 | 1,000 |
| 建設資金預り金 | 1,000 | | |
| | | | |
| Ⅳ 資産支出 | 6,567 | Ⅳ 資産運用収入 | 11,330 |
| 土地 | 0 | 預金利息収入 | 9,830 |
| 建設勘定 | 2,455 | 土地売却 | 1,500 |
| 建物付属 | 1,867 | | |
| 構築物 | 0 | | |
| 什器備品 | 1,445 | | |
| 車輌 | 800 | | |
| | | | |
| Ⅴ 財務支出 | 13,855 | Ⅴ 財務収入 | 508 |
| | | | |
| Ⅵ 予備費 | 0 | Ⅵ 雑収入 | 0 |
| | | | |
| 支出計 | 230,920 | 収入計 | 264,970 |
| | | | |
| 当期収支差額 | 34,050 | 前期繰越金 | 0 |
| | | | |
| 支出合計 | 264,970 | 収入合計 | 264,970 |

# 京都司教区　2005年度　小教区会計収支報告書

自2005年1月1日　至2005年12月31日

（単位：千円）

| 科目 | 実績 | 科目 | 実績 |
|---|---|---|---|
| 経常支出の部 | | 経常収入の部 | |
| （宣教司牧費） | 78,970 | （信徒通常献金） | 253,911 |
| 祭儀費 | 17,814 | 教会維持献金 | 196,459 |
| 司牧費 | 2,797 | ミサ聖祭献金 | 43,389 |
| 委員会活動費 | 2,240 | 大祝日（特別）献金 | 14,063 |
| 宣教広報費 | 3,832 | （特定献金） | 18,806 |
| 宣教育成費 | 1,011 | （特別献金） | 107,544 |
| 養成費 | 1,769 | 祭式献金 | 23,399 |
| 青少年育成費 | 3,943 | 一般特別献金 | 57,409 |
| 新聞図書費 | 2,459 | 営繕献金 | 12,858 |
| 会議費 | 773 | 建設献金 | 9,964 |
| 行事費 | 13,886 | 特別事業献金 | 3,914 |
| 慶弔費 | 5,706 | （墓地・納骨堂等収入） | 6,411 |
| 援助費 | 11,459 | 使用料収入 | 3,107 |
| 諸団体分担費 | 11,281 | 墓地祭儀収入 | 3,304 |
| （特定献金支出） | 19,001 | （補助活動収入） | 1,427 |
| （納付金支出） | 141,722 | （雑収入） | 361 |
| 教区納付金支出（A） | 36,415 | （資金運用収入） | 6,650 |
| 教区納付金支出（B） | 73,981 | 預金利息収入 | 6,502 |
| 教区納付金支出（C） | 22,706 | 受取配当収入 | 63 |
| 教区納付金支出（D） | 1,591 | 信託利子収入 | 85 |
| 修道会納付金支出 | 1,020 | | |
| 建設分担金支出 | 6,009 | | |
| （運営管理費） | 108,222 | | |
| （補助活動支出） | 425 | | |
| （墓地・納骨堂管理支出） | 1,321 | | |
| | | | |
| 経常支出合計 | 349,661 | 経常収入合計 | 395,110 |
| | | | |
| 財務支出の部 | | 財務収入の部 | |
| （固定資産支出） | 94,033 | （固定資産収入） | 55,766 |
| 建物附属設備購入支出 | 8,159 | 祭儀備品売却収入 | 50 |
| 構築物購入支出 | 0 | 墓地使用権売却収入 | 155 |
| 祭儀備品購入支出 | 2,973 | 特別目的預金取崩収入 | 55,561 |
| 器具備品購入支出 | 1,801 | | |
| 墓地使用権取得支出 | 3,003 | | |
| 特別目的預金積立支出 | 78,097 | | |
| （その他の財務支出） | 12,921 | （その他の財務収入） | 12,966 |
| （資金調整勘定） | △2,953 | （資金調整勘定） | △1,111 |
| | | | |
| 財務支出合計 | 104,001 | 財務収入合計 | 67,621 |
| | | | |
| 支出合計 | 453,662 | 収入合計 | 462,731 |
| | | | |
| 次期繰越金 | 219,063 | 前期繰越金 | 209,994 |
| | | | |
| 合計 | 672,725 | 合計 | 672,725 |

## ナドー神父

所属聖ヴィアトール修道会
生年1923
叙階1947

私が来日したのは1949年で、ヴィアトール会が京都で計画していた男子校の一人の創立者として派遣されました。洛星中学校は1952年に開校しましたが、それ以来私は30年以上教壇に立って青年の教育に携わってきましたので、退職しても教えようという気持ちが頭にも心にも残っています。

今最も興味があり熱心にすすめているのは説教と聖書の講座です。聖書の講座を準備すればするほど人生について我がキリスト信仰がどれほど多くの立派で心を温める事柄を教えてくださるか、感心しています。お恵みを毎日心からイエス・キリストに感謝しています。

83歳になってジョギングは無理ですが、足にペダルを押す力は十分ありますので、サイクリングを楽しんでおります。

## こんにちは神父さん

## 奥村一郎（おくむらいちろう）神父

所属聖カルメル修道会
生年1923
叙階1957

最近のわたしは「聖書深読」にたずさわる傍ら、お話をいただいている著作集の出版に向けて、多くの方々のお力をいただきながら、準備をすすめております。

わたしも齢八十を越え、昔ほど色々とはとり組めなくなりました。物忘れも多くなってきたような気がします。良いものを忘れ、小さいことが気になる阿呆なわたしですが、十字架につけられたイエスさまの側を離れなかったマリアさまのようにありたいと願っています。

わたしたちカルメルの修道院は、東洋の霊性を深く生きる京都の地、その南、黄檗山万福寺の近くにあって、右に左に道元禅師と親鸞上人の故郷に包まれ、恵まれたその中でカルメル会の祈りの霊性を深めるべく、日々、努力しています。

## 正義と平和協議会 全国集会

J・A・ロペス神父

今年の10月7日（土）から9日（祝）にかけて、京都教区で正義と平和協議会全国集会京都大会が行われます。

現在、その実行委員会が準備に当たっていますが、改めて正義と平和活動についてご紹介します。

### 正義と平和協議会とは

第2バチカン公会議の現代世界憲章に基づき、教皇パウロ6世が「教皇庁正義と平和委員会」を設立し、各国の司教協議会に「正義と平和委員会」の設立を要請しました。日本司教団はこの「正義と平和委員会」から1974年名称を「日本カトリック正義と平和協議会」と改名しました。

「京都協議会」は1977年に発足し、「部落問題」を優先課題として「福音からの問いかけを実践し、特に抑圧されている人々の側に立って行動を起こす」ことを目的に活動を始めました。事務局はカトリック会館7階です。

### 正義と平和全国集会とは

今年で第32回となる全国集会は、各教区回り持ちで開催され、京都教区での開催は前回1994年に続いて3回目となります。開催する教区によりさまざまな取り組みがされて来ましたが、全体的には2日から3日をかけて、メイン会場においての基調講演、パネルディスカッション、いくつかのグループに分かれて現地学習、分科会討議、懇親会、感謝のミサなどが行われます。また会場で各地の活動内容を紹介するパネル展示、書籍・ビデオ販売などがその期間に行われます。テーマ・正義と平和には、信仰が求めるさまざまな現代的課題が取り上げられます。

### 全国集会京都大会

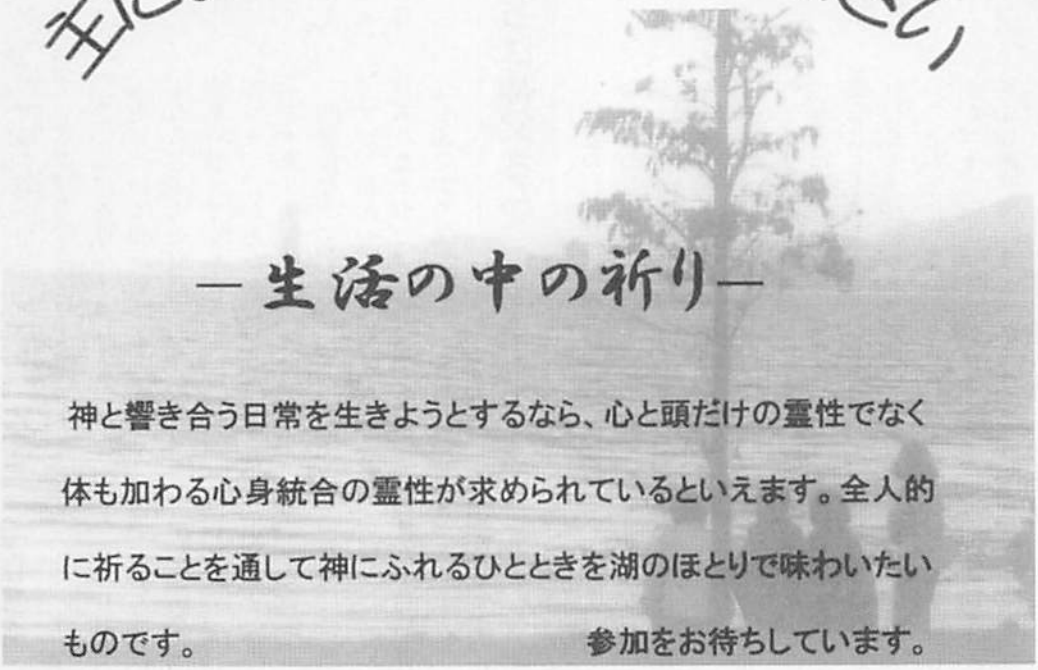
会場として聖母女学院（藤の森）が予定されていますが、具体的にはこれから順次、ポスターやパンフレットなどでお知らせします。教区時報でも紹介していきます。この集会が他府県ですとなかなか参加できませんが、今回は近くで行われるので、参加しやすいでしょう。3日間全部参加できなくても、部分的にでもいいですから、京都教区から一人でも多くの参加をお待ちします。

福音センター養成コース

# —祈りⅠ案内—

福音センターニュース

## 主においてたえず祈りなさい



## —生活の中の祈り—

神と響き合う日常を生きようとするなら、心と頭だけの霊性でなく体も加わる心身統合の霊性が求められているといえます。全人的に祈ることを通して神にふれるひとときを湖のほとりで味わいたいものです。　参加をお待ちしています。

| | |
|---|---|
| 指　導 | 柳田敏洋師（イエズス会　司祭）<br>福音センター　スタッフ |
| 日　時 | 2006年6月2日（金）午後4時～4日（日）午後3時半 |
| 会　場 | 唐崎ノートルダム修道院　（〒520-0106大津市唐崎1-3-1）<br>JR湖西線（京都駅から15分）唐崎（からさき）駅下車徒歩10分 |
| 申込締切 | 5月25日（木）迄に |

問い合わせ・申込先

郵便番号・住所・氏名・参加コース名をご記入のうえ、**参加費20,000円**を
郵便振替口座（00920-4-161844 カトリック福音センター養成コース）へお振込み下さい。

〒604-8006　京都市中京区河原町三条上ル　京都カトリック福音センター
Tel 075-229-6800　Fax 075-256-0090　E-mail fukuin@kyoto.catholic.jp

福音センター養成コース

新しい福音宣教を目指して

# 今さら聞けへん―「福音宣教」てなんやの？

福音センターでは、今年の教区目標、「新しい福音宣教に向かう小教区評議会」を理解する一助となるよう、「福音宣教」をテーマとした講座を開催しています。

第1回目の、「最初で最大の宣教者―イエス・キリスト」（3月1日　担当 福岡一穂師）では、今まで教会が「宣教」をどのように捉えていたかを概観し、その後、イエスの宣教の中心的メッセージである「神の国」について考えました。「神ご自身が行われる宣教のわざに自分を差し出す」（福岡師）ことがわたしたちの宣教。「わたしの宣教」ではなく「神の宣教の協力者」となることが肝要なのです。

「イエス・キリストの宣教の後継者は？」と題された第2回目の講話（3月15日　担当 一場修師）では、まず福音宣教とミサとの関係が語られました。「キリストの体」とされたわたしたちは、世界とともに福音化されていくのです。現代世界という「荒れ野」で福音を生き、伝える「四旬節的福音宣教」という言葉に心を打たれた方も多かったようです。

## 参加者の声

- ●何が福音になっているのか、何が福音になっていないのか、あらためて考えてみたい。
- ●「荒れ野」についてのお話が心に残りました。信徒として考えることがたくさんあるとわかりました。
- ●教会の現実に基づいた話として心に響く話であった。

## 講座はまだ続きます

○「わたしは万物を新しくする」―宣教・福音化の目的は刷新（担当 北村善朗師）
○何を伝える？―宣教・福音化の内容（担当 奥村 豊師）
○わたしたちの取り組み―京都教区の「新しい福音宣教」（担当 大塚司教）

# お知らせ

## 青年センターから

◆あっちこっちミサ▼21日（日）15時河原町教会都の聖母小聖堂

## 教区委員会から

◆聖書委員会▼聖書深読13日（土）10時　奥村一郎師　河原町会館6階　費用2500円（昼食代を含む）、持参品　聖書・筆記用具・ノート（お申し込みは3日前までに▼聖書講座シリーズ「ヨハネ福音書を読む―復活の主に出会う―10・11日村上透磨師、17・18日奥村豊師、24・25日池長潤大司教、31日・6月1日一場修師（池長大司教と一場修師が入れ替わりました）

## 地区協議会から

◆滋賀カトリック協議会▼安土セミナリヨ記念ミサ28日（日）13時半　講演会「幻の屏風絵探索安土町バチカン訪問」14時半　安土セミナリヨ跡公園隣接集会所（JR「安土」駅より徒歩15分）

## ブロック・小教区から

◆河原町教会▼教会の祈りと聖体賛美式・主日のミサ　第1日曜日17時半▼4月2日（日）に行われました旧天主堂（明治村）の写真展示は4月号で田井裕氏撮影としておりましたが、作品の中に長谷川正幸氏の作品が3点含まれておりましたことをお知らせいたします。

## 修道会から

◆ウィチタ聖ヨゼフ修道会▼わたしの生きる道「祈りの日のご案内」27日（土）9時　場所　本部修道院（竜安寺）　指導　竹内麟太郎師（コンベンツァル聖フランシスコ修道会）　対象　青年男女　会費500円（昼食代）申込み075（462）0754　Sr山本

◆聖ドミニコ女子修道院▼「ロザリオを共に祈る会」19日（金）10時半　どなたでも当日お出でください。問合せ075（231）2017

◆京都女子カルメル会▼講演とミサ6日（土）13時半講演、15時ミサ　講演「新しい福音宣教」大塚喜直司教▼講演とミサ6月4日（日）13時半講演、15時ミサ　講演「祈り」中川博道師▼問合せ075（462）6764

## 諸施設・諸活動から

◆カトリック聴覚障害者の会京都

# 済州教区交流部

交流部　兼元邦浩

これまで3回済州教区の紹介をしてきましたが、ここで京都済州姉妹教区提携までの流れと交流部の活動について紹介します。

### 姉妹教区調印と交流

昨年6月済州教区の姜司教と2名の司祭が京都教区を訪問され、歴史的な姉妹縁組の調印式が執り行われました（教区時報昨年8月号333号）。その後9月京都教区から大塚司教と交流部の合計5名が済州教区を訪問し、熱烈な歓迎をうけました（教区時報昨年11月号336号）。

### 姉妹提携までの経緯

1996年に日韓司教交流が始まり、両国の司教同士が親睦を兼ねた年1回の交流会と研修を継続発展させていくことになり、日本と韓国を相互に訪問することになりました。その中で、「日韓両国の教区が早い期間中に皆姉妹関係を結んで、交流の範囲を司祭・信者まで広めて行きたい」という意見があり、済州教区の姜司教から京都教区と申し出があり、姉妹縁組を結ぶことになりました。

### 交流部のメンバー

座長・大塚司教、渉外担当・本部事務局長及び本部職員、担当司祭・花井師、委嘱信徒（現在4名）、隣保聖体修道会代表、女子奉献生活者の会代表から構成されています。

### 交流部の活動の目的

済州・京都両教区の信者が、主イエス・キリストに招かれた福音宣教の仲間として、共に祈り励まし合いながら、初代教会から受け継いだ神の民の交わりをさらに深めるため、教区民全体のレベルにおいて多様な交流を推進します。

### 相互訪問の計画

◇済州教区からの訪問

4月24日から27日まで済州教区中央カテドラル教会から約35名が京都を訪問され、河原町教会で26日18時半に特別ミサが捧げられる予定。

◇京都教区からの訪問

10月19日から22日まで、京都コリアンカトリックセンター主催、交流部共催での韓国聖地巡礼予定。

グループ▼手話学習会11日（木）13時▼手話ミサ26日（金）11時　昼食代600円▼いずれも河原町会館

◆京都カナの会▼例会、結婚相談室7日（日）13時半

◆京都カトリック混声合唱団▼チャリティコンサート3日（祝）14時半　献金先　ホーチミン市・ストリートチルドレン友の会、希望の家　場所　河原町教会▼練習日14日（日）14時、27日（土）19時　河原町会館6階

◆京都キリシタン研究会▼都の聖母奉賛ミサ7日（日）14時　場所　将軍塚

◆子羊会▼黙想会21日（日）場所　ウィチタの聖ヨゼフ修道院本部聖ヨゼフホール

◆コーロ・チェレステ▼練習日毎月第2、第4、第5木曜日10時　河原町会館6階ホール

◆在世フランシスコ会京都兄弟会▼集会20日（土）13時半

◆聖ヴィンセンシオ・ア・パウロ会▼河原町協議会14日（日）▼中央理事会28日（日）▼いずれも河原町教会

◆二金会▼12日（金）西陣教会

◆糠みその会▼25日（木）19時半　九条教会ホール

◆ラジオ「心のともしび」　5月のテーマ「兄弟姉妹」　18日放送・阿南孝也さんのお話。　同じ「ぶどうの木」の枝の一本一本である私たちは、神様の御許に帰るその日まで、兄弟であることを忘れず生きていきたいと思う。　KBS京都ラジオ月～土の毎朝5時15分から5分間　放送中　問合せ075（211）9341

◆「一万匹の蟻」運動基金報告　累計　46、909、311円　（3月13日現在）

## 奈良地区聖書講座案内

土曜日昼コース　第2・4　10時
金曜日夜コース　右の前日　19時
会場　奈良教会（ただし5月12日、6月23日、9月15日は大和八木教会）

5月12、13日　村上透磨師
5月26、27日　雨宮　慧師
6月9、10日　森田直樹師
6月23、24日　大塚喜直司教
7月7、8日　奥村　豊師
7月21、22日　本田哲郎師
（7月21日の分は22日に合流）
9月15、16日　ナバロ師
9月29、30日　英隆一朗師
10月13、14日　一場　修師
10月27、28日　並木　豊師

（申込受付は終わりましたが、1回ずつ、その都度800円でお聞きいただけます）

## 良書紹介

### カルロ・マリア・マルティニ著

今回は良書紹介というより、著者紹介となるかも知れない。

師はイエズス会員であり、ミラノ大司教、何度も教皇候補にあげられた新約聖書学の権威でもある。教皇庁立聖書研究所の所長、グレゴリアナ大学の総長でもあった。翻訳されている本を見ると、大半は聖書に基づいた黙想の書である。師は聖書の深い神秘を分かりやすく解説し、師の講義には若者たちが押し寄せるとの事である。師はいつも出版に際し、校閲しようとはなさらない。それは生きた口頭の交わりこそ大切だと思っておられるからである。

以下翻訳され手もとにある書の名を紹介する。ただし日本語の翻訳と原文の表題とは必ずしも一致しないが（タイトルはその本の内容を印象づけるものだから…）。

以下翻訳のタイトルで紹介する。

**『キリストの友となるために』**

イグナチオの霊操の線にそってヨハネ福音書から黙想の素材を選び、イエスとの人格的な親しさに重きを置いて語っている。

**『宣教者をそだてるイエス』**

ルカ福音書を題材に、読書の喜びを人々に伝えるものになりたい人への熱望に応えるもの。

**『パウロの信仰告白』**

パウロを理解し、深めたい人に絶好の書。

**『ヨブ記の黙想』**

人生の苦難の意味は何か、その試練と恵みを語り、励ます。

**『開け』**

コミュニケーション文化は時代を変えた。相手を大事にしながら心を開くキリストのやり方に学ぶ。

**『誰が私に触れたのか』**

コミュニケーション技術革命は人間同士のかかわりを変える。キリスト者の目で見たマスメディアの価値と希望。

**『人びとと共に歩むマリア』**

女性らしさの秘境を最初に体験したマリア。そのマリアの反映である福音書の女性たち。女性の使命の深さを探る。

この最後の本の原文のタイトルは「その民における婦人」というものだが、これは教区の修道女に向け語られたもの。「カナンの女」（3つのうめき）、「カナの婚礼」（世界のうめきを聞くマリア）、「シモンの家での罪深い女」（福音的信仰）といった風に、いろんな聖書の女性たちにマリアの姿が反映されていると言う。興味深い視点に達した美しい書である。

# 大塚司教の

**5月のスケジュール**

5日（金）右近こども祭りミサ（大和榛原）10時
6日（土）京都女子カルメル会講演とミサ（衣笠）13時半
7日（日）京都南部・北ブロック司教訪問（衣笠）
8日（月）教区宣教司牧評議会書記局会議18時
9日（火）共同宣教司牧推進チーム事務局会議15時
10日（水）中央協出版審議会
11日（木）中央協常任司教委員会
神学校合同準備会
東京カトリック神学院常任司教委員会
12日（金）東京カトリック神学院常任司教委員会
13日（土）集会司式者学習会（河原町）10時半
14日（日）三重・北勢ブロック司教訪問（四日市）
15日（月）教区宣教司牧評議会書記局会議18時
16日（火）青少年委員会17時
17日（水）学法京都学園・京都南学園理事会14時
18日（木）司教顧問会・責任役員会10時
20日（土）教区宣教司牧評議会11時
21日（日）京都南部・南ブロックB司教訪問（田辺）
青年ネットワーク「あっちこっちミサ」（河原町教会都の聖母小聖堂）15時
23日（火）社会福祉法人カリタス会理事会14時
24日（水）学法滋賀学園理事会14時
25日（木）司祭全体集会10時半
司祭評議会15時半
27日（土）京都済州姉妹教区交流部14時
28日（日）三重地区合同堅信式（四日市）11時
30日（火）メリノール女子学院理事会14時
30日（火）～31日（水）東京カトリック神学院神学生養成担当者会議
31日（水）中央協出版審議会

**◆閉院のお知らせ**

次の修道院が3月31日閉院となりました。

▼聖母訪問会京都修道院
▼善きサマリア人修道会登美が丘修道院

青年センターあんてな

## あっちこっちミサ3のご案内

宮地周吾郎

みなさんこんにちは。今回は5月21日（日）に行われるあっちこっちミサについてお知らせしようと思います。

あっちこっちミサとは、私たち青年が、全国の青年と距離は遠く離れていても、同じミサにあずかっているということを実感し、各地でそれぞれが、今できること、やりたいことをみつけ、そこから何かを始めようというきっかけ作りとして始めました。日本全国で、同じ時刻に、同じ典礼・聖歌で、心をひとつにしてミサを行います。2002年に第1回目のあっちこっちミサが全国11カ所で行われました。そして一昨年2004年には第2回目が全国16カ所で開催されました。北は北海道、南は沖縄まで日本全国、規模の大小はあれど同じ気持ちでミサを与る喜びを私達は体験してきました。そして私にとってこのあっちこっちミサ2は私の青年活動のスタートとなった思い出深いイベントです。このときのテーマは「漕ぎ出せ」でした。

大学で京都に来て、教会離れしかけていた私ですが、地元九州の福岡でこのイベントに参加して、このテーマ通り、ここから漕ぎ出すことができました。そして今回、第3回あっちこっちミサを行うことが決定しました。今まで様々な成果をあげてきたあっちこっちミサですが、今回もまたさらに多くの場所と多くの方々と共にミサを作っていきたいと考えています。

今回のテーマは「おうちに帰ろう」です。「いってきます」と同時に「ただいま」の場所でもある私達の家、ミサにみんなと帰りたい。その食卓を共に囲むために。今回のテーマにはそんな気持ちが込められています。京都でも河原町教会都の聖母小聖堂で行うことが決定しました。ミサは15時から始まります。このミサは青年だけでなく、全国みなさんのためのミサです。興味を持たれた方はぜひご参加ください。

青年センターホームページ
http://www.kyoto.catholic.jp/seinen/
携帯電話からもご覧になれます。
http://www.kyoto.catholic.jp/seinen/m